

計画策定の背景

1 計画策定の考え方

- ◆策定の趣旨 …「長野県食と農業農村振興の県民条例」の基本理念を踏まえ食と農業・農村の持続的発展を目指す
- ◆計画の期間 …平成20年度～24年度（5年間）
- ◆進行の管理 …毎年度の進捗状況の結果について、食と農業農村振興審議会及び地区部会から意見聴取の上、県議会に報告し公表
- ◆計画の推進 …農業者及び消費者の参画と協働、市町村・関係団体等との連携・強化

2 食と農業農村をめぐる情勢

《長野県の現状と課題》

- 農業者の減少・高齢化の進展による担い手不足
- 産地間競争の激化、販売価格の低下、産出額の減少
- 野菜摂取量の減少、食育や地産地消への関心の高まり
- 農地の減少、遊休農地の増加
- 農業水利施設の老朽化

《我が国の社会情勢の変化》

- 少子高齢化と人口減少社会の到来
- WTO農業交渉・EPA交渉など国際化の進展
- 環境問題・地球温暖化の顕在化

3 基本目標

～食と農が織りなす 元気な信州農業～

農業者と消費者が「食」と「農」の価値や役割を十分認識することにより、食と農の結びつきを深め、農業が21世紀にふさわしい魅力ある産業として発展し、活力ある農村づくりの実現を目指します。

【経済努力指標】

基本目標の実現に向け、本県の食と農業・農村振興の経済的な努力指標として、良質な農産物の安定生産を示す農産物産出額と、食品・観光の連携等による農業の付加価値的な生産を示す農業関連産出額の2項目からなる農業農村総生産額を設定し、目標年度に3,000億円を目指します。

食と農業・農村の経済努力指標	H17年（基準年）	H24年（目標年）
農業農村総生産額	2,899億円	3,000億円
農産物産出額（米穀・果実・野菜・きのこ・畜産等）	2,735億円	2,800億円
農業関連産出額（水産・農産加工・観光農業等）	164億円	200億円

4 施策の展開方向

食と農が織りなす 元気な信州農業

5つの基本方向

基本方向 1

多様な担い手が元気に活躍する農業・農村

基本方向 2

競争力のある付加価値の高い農畜産物を生産する農業・農村

基本方向 3

消費者と「食」の絆を結び豊かな食生活を育む農業・農村

基本方向 4

環境と調和し地域が輝く元気な農業・農村

基本方向 5

働きやすく住み良い農業・農村

5つの重点戦略

基本目標の実現に向け、計画期間中に重点的に取り組む施策を「重点戦略」として位置付けました。

- 1 農業・農村を支える多様な担い手づくり戦略
- 2 競争力の高い園芸産地再構築戦略
- 3 食と農業農村ビジネス・販売戦略
- 4 環境にやさしい農業・農村づくり戦略
- 5 元気な中山間地域づくり戦略

10地域別の発展方向

地域の農業農村の発展を目指し、県下10地域ごとの特色を踏まえ、具体的な取り組み・目標を明らかにした地域農業の活性化計画を提示しました。

【10地域】

佐久・上小・諏訪・上伊那・飯伊
木曾・松本・大北・長野・北信